

## 競争入札経過調書（総合評価落札方式(除算方式)）

件 名 東京国際空港C滑走路離着陸滑走路判定装置移設工事

開札年月日 平成30年5月9日 （落札決定日 平成30年5月29日 ）

入札執行官署 東京航空局

落札金額 ￥4,644,000 -

落札者 (株) エレテック

予定価格 ￥11,228,738 -

積算額 ￥11,228,738 - 入札書比較価格（予定価格の100/108） ￥10,396,980 -

調査基準価格 ￥10,105,864 - 調査基準価格の100/108 ￥9,357,282 -

基準評価値 961.817

低入札価格調査実施済 第1回 落札

入札参加者	評価点 (満点120点)	第1回入札			第2回入札			摘要
		入札金額	評価値	評価値 ≥ 基準評価値	入札金額	評価値	評価値 ≥ 基準評価値	
(株) エレテック	110.5	4,300,000	2,569.767	○				第1回 落札
センシン電気(株)	113.5	8,600,000	1,319.767	○				
(株) ジェイ・ティー・エヌ	-	11,300,000	-					
東邦通信工業(株)	-	11,500,000	-					

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の108分の100に相当する金額である。

※ 予定価格（入札書比較価格）の範囲内の入札金額であり、評価値の最も高い者を落札者とする（なお、その範囲に満たない入札金額の場合は、各点数を表示しない。）。

※ 評価値は、評価点を各回入札の入札金額（億単位換算）で除して算出する（小数点以下第3位まで表示）。

※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の8%に相当する額を加算した金額（1円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。

## 低入札価格調査の実施概要

工 事 名 : 東京国際空港C滑走路離着陸滑走路判定装置移設工事

調査を実施した業者名・住所 : 株式会社エレテック 東京都千代田区神田富山町30

項 目	内 容
① その価格により入札した理由	<p>下記の理由及び企業努力により入札金額を低減した結果、今回の価格により入札を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直接工事費の「設置工事」については、東京国際空港での別件工事と併せた工事材料品の一括調達が可能であり、「電源切替盤」に関しては従来より取引実績のある業者より安価で入手できることから材料費の削減となった。</li> <li>・共通仮設費については、工事機材を現在履行中の工事と共有することで経費の圧縮へと繋がった。</li> <li>・現場管理費・一般管理費においては、工事着手前の現地調査を入念に行い工期や作業時間を圧縮することで管理費の削減を実施。また、東京国際空港にて履行中の工事案件で現地事務所を共同で使用することで、品質担保と利益の確保を精査のうえ最低限の見積を算出し、当該価格での応札となった。</li> </ul>
② 契約対象工事付近における手持工事の状況	契約対象工事場所での手持工事を1件請け負っている。
③ 契約対象工事に関連する手持工事の状況	東京国際空港で履行中の工事があり、当該案件と工期が重複するが履行に支障はないことを確認した。
④ 契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等の関連（地理的条件）	履行中の手持工事に関連し、契約対象工事場所に事務所を設けている。
⑤ 手持資材の状況	なし
⑥ 資材購入先及び購入先と入札者との関係	資材購入先においては、8年以上に及び継続的に取引実績のある業者より資材を調達していることを確認した。
⑦ 手持機械数の状況	なし
⑧ 労務者の具体的供給見通し	作業員の労務単価については、東京都の最低賃金を下回っていないことを確認した。
⑨ 過去に施工した公共工事名及び発注者	東京空港事務所発注の履行中の手持工事（「東京国際空港場内ネットワーク増設工事」）が1件ある。過去に施工した公共工事として、当局管内において事務所発注工事等その他同種の業務実績が多数あることを確認した。
⑩ 経営内容	調査対象者は当局及びその他の官公庁発注の業務を受注している。
⑪ 1から10までの事情徴収した結果についての調査検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本工事における直接工事費について、当局の積算では直接工事費として算出していた項目を共通仮設費として見積もっていた為、見積金額に差異が生じたことを確認した。</li> <li>・共通仮設費において、工事機材の別件工事との併用が大幅なコスト削減となった。そのため、当局にて直接工事費として算出していた項目を含めても、当局の積算と比較して安価となったことを確認した。</li> <li>・現場管理費については、念入りな事前調査により工期や作業時間を圧縮することで管理費を削減し、さらに別件工事との事務所の併用で経費の削減を実施。一般管理費では、本件工事が業者にとって新たな分野であり今後の経験に生かせることを推重し、利益等は最低限で算出しているが当該契約の適正な遂行に支障のないことを確認した。</li> <li>・過去に当局管内において業務実績が多数あり、作業員全員が東京国際空港制限区域内での作業を経験済みであることから継続した工程を組み作業効率の向上が期待できる。</li> <li>・そのほか、事前に工事工程表を提出し履行中には工事の進捗状況を報告することが義務づけられているが、当該工事においては1週間に1回（移設工事着手直前は毎日）工程毎に工程表を提出することとし、監督職員が実際の進捗状況との照合回数を増やすことで、高い品質の確保に努めることとする。</li> </ul>
⑫ 公共工事の成績情報	過去の工事成績において良好に施工されている。
⑬ 経営状況	特に問題なし。
⑭ 信用状況	特に問題なし。
⑮ その他の必要事項	特になし。